

平成27年9月3日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 新規制基準の適合審査の状況

(1) 新規制基準への適合性確認の審査を受けるため、平成26年1月15日に「事業変更許可申請」を提出し、原子力規制庁によるヒアリング審査が、平成27年8月19日までに、84回（施設関連69回、地震・津波等関連15回）が行われており、施設関連については、規定項目への適合性説明をほぼ終えるとともに、説明時に頂いた多くの指摘・質問への回答も終盤を迎えています。また、地震・津波等関連については、大半の所要項目の説明を終えるとともに、指摘・質問への回答を鋭意進めているところです。

(2) 下北半島東部の地質構造調査に関する最終評価結果について

（日本原燃（株）、東北電力（株）、東京電力（株）^{※1}と当社で共同実施）

平成24年11月から平成26年5月にかけて共同で下北半島東部の地質構造に関する調査を実施してまいりました。

このほど、海底地形面調査、海上音波探査および採泥調査の結果（平成25年12月17日お知らせ済み）に加え、海上ボーリング調査、海陸統合探査等の結果を踏まえ、最終的な評価としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

これまでの調査結果を総合的に評価した結果、大陸棚外縁部の深部地質構造、各地層の年代等について知見の拡充が図られ、あらためて大陸棚外縁断層は約25万年前以降の活動が認められないこと、大陸棚上および大陸棚外縁部の急斜面の地質は新第三紀中期中新世（約1,600～1,200万年前）に堆積した地層であること等を確認いたしました。

なお、本評価については、有識者から構成される第三者委員会を設け客観的な立場から幅広くご指導、ご助言をいただきながら実施してきたものです。

（平成27年7月23日 ホームページに掲載^{※2}）

※1 東京電力株式会社は平成25年5月から調査に参画

※2 リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：<http://www.rfsc.co.jp/>